

屋根の上の バイオリン弾き

「ウェスト・サイド物語」のジェローム・ロビンス(振付)と
「華麗なる賭け」のノーマン・ジュイソン(監督)が
秀麗な色彩と哀愁のリズムで描き上げた
今世紀最大きらめく愛のミュージカル……

トボル ■ ノーマ・クレイン ■ レイモンド・ラブロック ■ ロザリンド・ハリス
ミシェル・マーシュ ■ ニーバ・スモール ■ エレーヌ・エドワーズ ■ キャンディス・ボンスタイン
製作・監督 ノーマン・ジュイソン ■ 主題曲 サンライズ・サンセット 他

70mm

超マルチ・ステレオ・サウンド®
〈テクニカラー〉

涙を見せないで！
愛する人を追って私はシベリアへ行きます
このすばらしい愛が
華麗なメロディと共に
永遠の感動を捧げる
大ロマン！

屋根の上のバイオリン弾きは哀しい愛の象徴
夕陽の輝きのように美しい伝統の象徴……



"Fiddler
on the Roof"

United Artists
ユナイテッド映画

THE MIRISCH PRODUCTION COMPANY
presents

A NORMAN JEWISON FILM
"FIDDLER ON THE ROOF"



70mm
超マルチステレオ・サウンド®
(テクニカラー)

屋根の上のバイオリン弾き

"Fiddler on the Roof"

United Artists
エンタート映画

- スタッフ
製作・監督……ノーマン・ジュイソン
原作……ショラム・アレイハム
脚本……ジョゼフ・スタイン
撮影……オズワルド・モリス
音楽・監督……ジョン・ウィリアムズ
- キャスト
テビエ……トボル
妻ゴールド……ノーマ・クレイン
フヨードカ……レイモンド・ラブロック
長女ツァイテル……ロザリンド・ハリス
次女ホーデル……ミシェル・マーシュ
三女チャバ……ニーバ・スモール
四女シュプリンツェ……エレーヌ・エドワーズ
五女ビルケ……キャンディス・ボンスタイン
仕立屋モーテル……レナード・フレイ
学生パーチェック……マイケル・グレイ



愛の涙にぬれる美しい感動のミュージカル!

山なみの彼方に浮ぶ夕陽。空は絵具を流したように紅く、地上のものを美しく、色鮮かに浮彫りする。古びた小さな屋根の上のバイオリン弾き。一生懸命楽しい曲を弾きだそうとしているが、いつしか、もの哀しいメロディを奏してしまふ。一本目の弦は愛を、二本目は平和を、三本目は忍従の精神に裏打ちされた不屈の意志を、そして四本目は伝統を。屋根の上で足もとを気にしながら。必死に平衡を保ちながら……

陽は昇り、陽は沈む……そして、また……

「屋根の上のバイオリン弾き」
伝統に生き、伝統を重じ、伝統を礎としながら未来を切り拓くこの南口シヤに住む人たち。その力強さはやがて大なる「愛」に昇華。縛る一切のものを拒絶し、人々は唱い、踊り、舞う。確かな伝統と切り拓く「愛」の未来を予兆して。

ルを愛していることを知っているからだ。
■もし金持だったら……：テビエは馬を引きながら家路を急いでいた。もしお金があったら、フト思った。

■安息日の祈り……：途中、食しい学生パーチェックに出会った。革命家だ。二人は意気投合した。テビエは食事をおごり、代りに娘たちの勉強をみてもらう。テビエは家に学生を招き、紹介した。

■人生に乾杯……：テビエは長女と肉屋ウオルフとの結婚を許した。居酒屋へ二人が連れだつていくと村の人たち、ロシア人までも一諸になつて歌い踊つた。

■奇跡の中の奇跡……：長女は仕立屋モーテルを愛しているとテビエに打明けた。テビエは板ばさみになつて苦しんだが結局は二人の結婚を許すのだった。

■仕立屋モーテル・カムゾイル……：テビエは納得したものの妻にどういうか、彼は一計を案じた。肉屋の死んだ女房とお婆さんが現れて、この結婚に反対。そんな恐しい夢をみた、と。妻は夫の真意を悟り、仕立屋との結婚を許した。

■サンライズ・サンセット……：結婚式はしきたり通りに行われた。参会者は誰れいうとなく踊り始めた。

その時、ロシアの警官隊が乱入し、式どころではなかつた。

■愛しているかい……：アナテフカは一見平和のようだが、内実は圧制、打ちこわし、暴動の気配が漂っていた。三女チャバはロシアの若者フヨードカと恋をしていた。革命に参加するパーチェックは次女ホーデルに結婚を申し込んだ。呆然とするテビエ。ものわかりの良いテビエだった。が、妻は無理解だ。テビエはホーデルの気持を説明し、妻に愛しているのだったとたずねた。

■愛するわが家を遠く離れて……：学生パーチェックは逮捕、シベリア送り。次女は学生を追ってシベリアへ行くと、テビエに別れを告げた。悲しすぎるテビエ。三女のチャバはロシアの青年と結婚する意志だったがテビエは

断固反対した。政敵ロシア人と結婚するなんて。すべてが違う。自分たちとは。

■アナテフカ……：悪化する政情。全てのユダヤ人は三日以内に村を離れること。滞留することは死を意味していた。一切財物を積み人々は村を離れた。散り散りに。ポーランドへ、イスラエルへ、アメリカへ……と。

テビエが村を離れるとき、屋根の上からバイオリンのメロディが聞こえてきた。テビエは彼を招いた。旅立つ……どこへ。バイオリンのメロディがこだましていた……

これは単なるミュージカルではなくある時代を生きたナマな人生のドラマに仕上がっている点が秀逸である。監督は名匠ノーマン・ジュイソン。音楽監督ジョン・ウィリアムス。数々のヒット・ナンバーに酔いしれる。振付「ウエスト・サイド物語」のジェローム・ロビンズ。撮影オズワルド・モリス「オリバー」

「ナバロンの要塞」主役テビエには各舞台で経験豊富なトボル。他世界の映画・演劇人総出演。今をときめく人気スター、レイモンド・ラブロックもロシア青年の役を見事に演じている。特筆すべきは愛らしい五人のスターこの作品のため世界から公募され、見事な演技を見せている。

「屋根の上のバイオリン弾き」確実に「愛」のドラマ。

64ブロードウェイで初公演されて以来、日本を含めて25カ国で上演、三千余万人が舞台をみ、共に笑い、泣き、感動した。これは圧政とあらわな差別に生きた「さすらいのひと」との誇りと尊敬とをドラマチックに感動的に描きあげた「愛」の物語。「愛」のミュージカル。人生の詩。70ミリの大画面に超マルチステレオサウンドで展開する「愛」の詩。

■伝統の歌……：19世紀末、革命前の南口シヤ。ウクライナ地方のアナテフカ。ここにはかじ屋、仕立屋、市場などが貪しく雑然と並んでいる。屋根の上には落ちないよう平衡を保ちながらバイオリンを弾いている。

アナテフカの牛乳屋テビエ。貪しくとも信仰厚い男。口うるさい妻ゴールド。愛らしい五人の娘。ツァイテル。ホーデル。チャバ。シュプリンツェ。ビルケ、それに馬一頭。

特に長女の結婚式。シベリアへ恋人を追う次女と父の別れ、三女たち一家の離散がすばらしい感動をみせる。ロビンズの振付けた三人のヒロインの踊りやロシアン・ダンスは「ウエスト・サイド物語」をしのいですばらしい興奮をみせる。

(三時間五分)

■仲人の歌……：安息日のお祝いで忙しいテビエの家。そこへ仲人婆さんが結婚話をもってきた。肉屋ウオルフは長女のツァイテルがほしいという。妻は良縁と思ったが、テビエが何というか心配だ。長女は仕立屋のモーテ

団体鑑賞申受中
年末年始のプレゼントに
ぴったりの超A級大作!

お申受 (503)6136UA
(501)6682ウイズダム

■シネマイト募集 ■年会費2000円

7回招待 第一回
「屋根の上のバイオリン弾き」
現金書留で(株)ウイズダムへ
東京都港区芝西久保桜川町11番地有間ビル

12月4日(土)から
お正月映画ロードショー

有楽座 (591) 5351